

第 106 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 30 年 6 月 28 日（木）～29 日（金）

ピアザ淡海（第 12 回核融合エネルギー連合講演会）

2. 来訪者 80 名程度

3. 説明概要

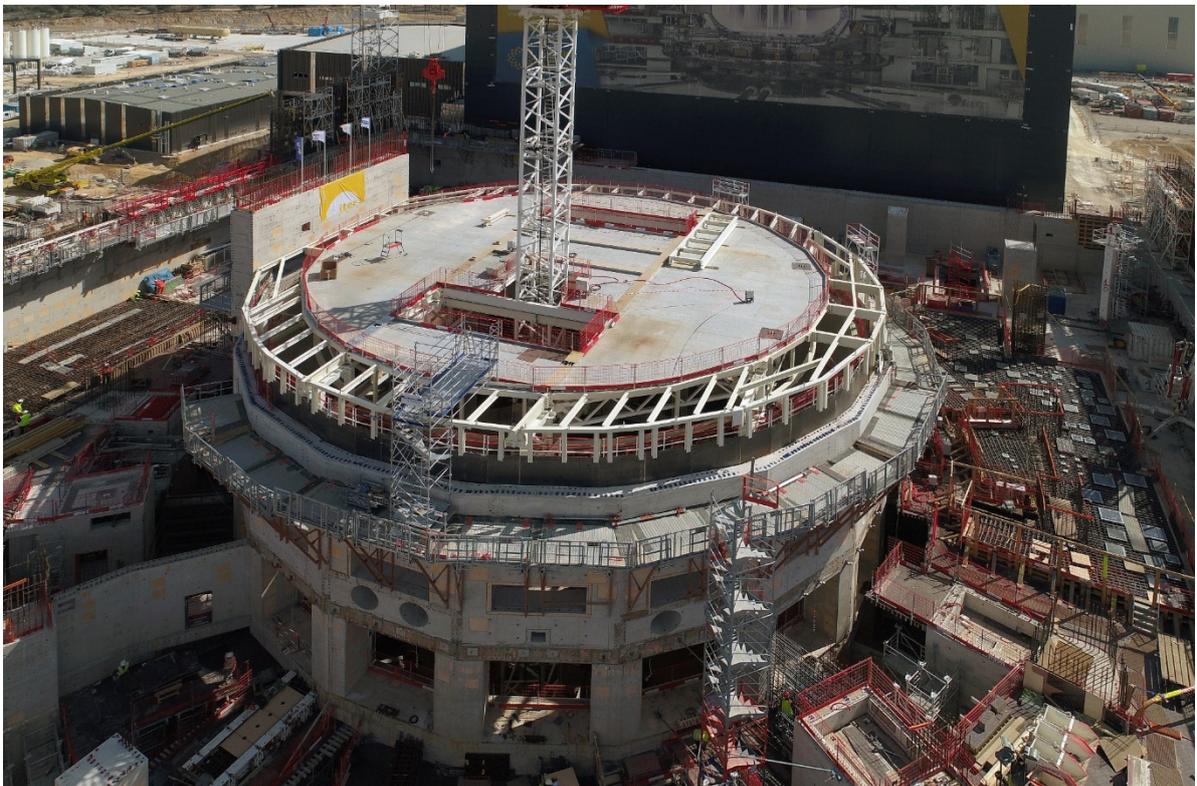
第 12 回核融合エネルギー連合講演会において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型、パンフレット、チラシを展示し、ITER 計画の概要と最新の建設状況、ITER 国内機関として ITER 製作機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募に関して説明を行った。また、建設中の ITER サイトの様子を見ることができる VR の体験コーナーを設けた。

（ITER 連携推進グループ 近藤、會澤）

4. 主な Q&A

Q：ITER サイトの建設状況はどのようになっていますか？

A：現在、ポロイダル磁場 (PF) コイル建屋、クライオスタット組立棟と本部ビルの建屋が完成しています。PF コイル建屋では、直径 17m、重量約 200t のコイルの製作が進められています。また、バイオシールドには昨年 8 月に、一時的な円形の屋根が設置されました（図 1）。この屋根は重量約 140t の巨大なコンクリートできており、地上にいる作業者を保護する役割があります。屋根は 2020 年 4 月まで設置されている予定です。このように、ITER は 2025 年のファーストプラズマに向けて着々と建設が進められています。



写真：ITER 機構提供

図 1 バイオシールドに設置された屋根

Q：ITER 建設サイトはどのようなところですか？

A：ITER は南フランスのサン・ポール・レ・デュランスに建設されています。建設サイトの周辺は自然豊かで、広大な敷地に ITER は建設されています（図 2）。2007 年より土地が整備され、建設が開始されました。ITER 建設サイトの様子は ITER 機構ホームページの ITER VR ツアーからご覧いただけます。

ITER 機構ホームページ：<https://static.iter.org/com/360/>



写真：ITER 機構提供

図 2 ITER 建設サイトの様子（2018 年 4 月撮影）

Q：ITER 計画を進める上で大変なことはありますか？

A：ITER 計画は国際プロジェクトのため、多くの国や地域と協力をして建設を進めています。サイトの建設や機器を製作する上で、製作や管理の方法において考え方が異なるため、様々な調整が必要となります。大型プロジェクトを推進するためにプロジェクトマネジメントを確実に進めることが大変なところです。

Q：インターンシップはどのように参加できますか？

A：申し込みを希望される方は、大学の了承を得て、ITER 機構に応募書類（履歴書、希望分野の日時を記載した表書き、最新の成績証明書、いずれも英語）をご提出ください。量子科学技術研究開発機構では、応募書類の英文添削、書式のアドバイス等の支援を行っておりますので、ぜひご活用ください。

ITER 機構インターンシッププログラムご案内の詳細は、ITER Japan ホームページをご確認ください。

http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/internship_program.html

5. 展示会の様子

